

事務事業マネージメントシート

作成日 平成24年 05月 07日

事務事業名	施設入所支援事業			担当	健康福祉部 福祉課 障害者福祉係					
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8129				
施策名	03	障がい者の自立と社会参加の支援			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業					
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				
法令根拠	障害者自立支援法、同法施行令、同法施行規則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H18 年度~)				
予算科目	1.一般会計	3.民生費	1.社会福祉費	1.社会福祉総務費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~ 年度)				
事業概要	障害者自立支援法に基づく介護給付の1つのサービスとして、平成18年10月から実施することになった。生活介護または自立訓練若しくは就労移行支援の対象者に対して、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行う。(自立訓練、就労移行支援については単身での生活が困難な者、通所が困難な者とする。)利用者からの申請に基づき、申請者の状況を調査する。障害認定区分審査会において、障害程度及び認定期間を認定する。障害程度と勘案事項(地域生活、就労、介護者など)を基に支給期間・支給量(1ヵ月の利用日数)・利用者負担上限額の決定をし、受給者証を交付する。利用者は、県が指定した事業所を選択して契約を結びサービスを利用する。利用者はサービス料の1割を負担する。(事業所へ支払う。)国県負担金額1/2県1/4 該当施設 市内1、県内15、県外9									

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 23年度実績 申請を受けて、障がい者の身体状況を調査し、障害認定区分審査会で障害程度及び認定期間を認定する。障害程度と勘案事項を基に支給期間・支給量・利用者負担額の決定する。受給者証の交付を受け利用者が事業所と契約してサービスを開始する。平成22年4月1日より、障害者自立支援法の一部改正により、低所得(市町村税非課税)者の自己負担無料化実施。	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
24年度計画 前年度同様。	ア 事業申請者数		24	44	47	66	80
	イ						
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 身障・療育・精神手帳所持者。	ウ						
	エ						
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 障がい者が、夜間や休日、入所施設において、入浴・排せつ・食事の介護等を受けられるようにする。	オ						
	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 障がい者の自立と社会参加の支援	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア 身障・療育・精神手帳所持者		2,584	3,415	3,465	3,518	3,588
	イ						
	ウ						
	エ						
	オ						
⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移							
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア 事業利用者数		24	44	47	66	80
	イ 延べ利用日数		8,235	15,261	18,378	23,351	28,304
	ウ						
	エ						
	オ						
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移							
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア 支援を受けて社会参加を図った障がい者の割合		100	100	100	100	100
	イ						
	ウ						
	エ						
	オ						
(2) 総事業費の推移							
投 入 量	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
	事業費	国庫支出金 千円	7,682	21,818	34,578	37,119	0
	財源内訳	県支出金 千円	3,841	10,909	17,289	18,559	0
		地方債 千円	0	0	0	0	0
		その他 千円	0	0	0	0	0
		一般財源 千円	3,842	10,909	17,290	18,560	0
		事業費計(A) 千円	15,365	43,636	69,157	74,238	0
人 件 費	正規職員従事人數 人		2	2	2	2	0
	延べ業務時間 時間		135	135	135	135	0
	人件費計(B) 千円		564	548	576	573	0
トータルコスト(A)+(B) 千円			15,929	44,184	69,733	74,811	0
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?		障害者自立支援法の施行に伴い、平成18年10月から開始された。					
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?							
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?							

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 障がい児・者に対して、施設において、介護等を行なうことは、障がい児・者の自立と社会参加の支援に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 障害者自立支援法に定められているので妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 障害者自立支援法に定められているので、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 障害者自立支援法に基づく事業なので、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 障害者自立支援法に定められているので、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 障害者自立支援法に基づき行なっているので、事業費の削減はできない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人員で対応しているので削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 障害者自立支援法に定められているので、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																									
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																									